

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 3号)

2024年11月 5日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが確認されています。窒素は、漁場地先で7~11 $\mu\text{g at/L}$ 台、漁場沖筋で概ね5~7 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均22.8 $^{\circ}\text{C}$ (平年比2.6 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比1.0 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い)。(塩分) 平均31.68psu。前回(31.96)より0.28psu低い。
(栄養塩、珪藻ほか) 海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが確認されており、海域東部では発生量が増加していた。各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は、海域東部で300~450細胞(前回値:100~300細胞)、海域西部で100~250細胞(前回値:200~250細胞)であった。別府漁場では、小型珪藻のキートセロス、リゾソレニア等が確認されており、発生量は少ないものの、前回(10/29)調査より増加していた。
高砂漁場では、陸水の影響により、窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	23.4	22.8	20.2	21.8
窒素	5.7	7.4	5.6	4.3
リン	0.66	0.80	0.61	0.57

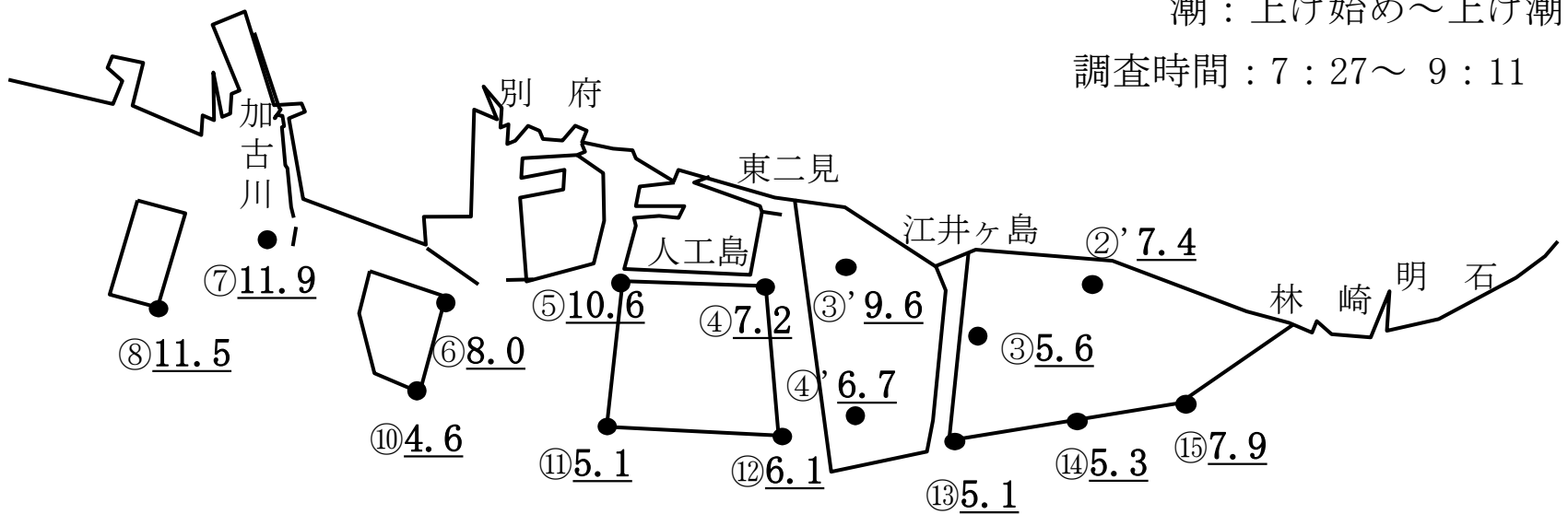
(10/29) (11/2)

2024年11月 5日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ始め~上げ潮

調査時間：7:27~9:11



水温図

